

# 市民文芸

## 教室紹介

### 多久市民大学「ゆい工房」アロマ講座



アロマセラピーで  
心と身体を  
リラックス!!  
癒しの  
ひとときを…。

◀アロマに興味があり、さらに勉強したい方はアロマアドバイザーを目指すきっかけにもなる講座。心地のよい香りが漂う中、音楽と明かりにも癒されながらキャンドルを作るみなさん(キヤラー三蔵堂)

ナードジャパン認定のアロマアドバイザー・アロマテラピストとして活躍される山口範子先生(市内在住)が講師の『アロマ講座』は「クラフト作りを楽しんでアロマに興味を持っていただこう」というアロマベシックの中のハウスケアコースです。受講者は、アロマセラピーや精油の基礎、香りの作用などを学びながら、好きな香りをブレンドした“お掃除パ

ウダー”、“クリーンスプレー”などを作り、効果を楽しみながら生活に役立てます。8月5日は、湯煎したミツロウにユーカリ・レモン、ゼラニウム・エジプト、シトロネラ・ジャワの精油をブレンドし“蚊よけキャンドル”が作られていました。受講者は「別世界のようなリッチな気分になり、役立つ勉強が新鮮で毎回楽しみ」と話され、作業されていました。

## 短歌

八十路には八十路の想いたゆたひて短歌とふ杖に継りて生きむ  
水芭蕉 鉢植え楽しむベランダに尾瀬湿原は 適わぬ再訪  
別れ時 又ねの言葉お互いが歳を思いて又があればと

一面の赤きカンナの赤や佳しとソフィアの街を 夫なつかしむ  
梅雨入りを待ちたるように鉢の合歌うす紅の花を遊ばす

《夏の芽短歌会 五選》

## 俳句

かなかなや包丁使ふ夕ごころ  
二つ三つ年を戻して夏帽子

吹き抜ける風が何より夏座敷  
新茶汲む最後のしづく翠なる  
農道を 田植機同士の譲り合い

《あさひ句会五選》

## 川柳

梅雨あけて洗濯物の花開く  
開け放ち風鈴の音子守唄

コンピニ弁もつたいないが認められ  
ばらまけるお金まだまだあるらしい  
手ほどきをしている方が臨時工

《多久川柳会 五選》

## No. 149 人権教育 生きる

「何でもないこと」

我が家に新しい仲間が増えた。子犬を飼ってしまった。しかも室内犬。その子犬は外でしか用を足せず朝は必ず5時に激しく鳴くので、しぶしぶ起きなければならぬ。その日も眠い目をこすりながら庭に出た。すると隣に住んでいる父が丁度朝の散歩に出かける所だった。今まで父が散歩しているとは恥ずかしながら知らなかった。思い切っついで行くことにした。父の散歩は30分でもなくただ黙々と歩いている。父

と子どもの時に散歩なんてやったことがあったのだろうか。ぎこちない空気が流れている。  
途中でため池に鳥の親子が泳いでいた。  
「キヤーツグロ(カイツブリ)の親子は毎日ここで泳ぎよるとよ」  
それから、庭に出ている人であった。  
「今日は娘と散歩しよります。ついでいこうでござつとなかです。」  
父が嬉しそうに話しているのを見てちよつとドキドキした。私も嬉しくなった。  
厳しくて口数の少ない父と、いつの間にかつかず離れずの関係になっていたから・・・何でもないことにしあわせを感じる事ができる毎日に感謝しよう。  
子犬のおかげで早起きも三日坊主にはならないだろう。これも感謝。感謝。  
社会教育指導員 野中久美子